

2019年度 法学部・法学会共催 春季講演会

「加害者家族の現状と支援」

講師：阿部恭子 氏

(特定非営利活動法人 World Open Heart 代表)

2019年度春学期の講演会は、犯罪加害者家族支援の最前線で活躍なさっている、特定非営利活動法人 World Open Heart 代表・阿部恭子氏に「加害者家族の現状と支援」と題して、お話をいただきます。

《ご経歴》

東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了（法学修士）。

2008年大学院在学中、日本で初めて犯罪加害者家族を対象とした支援組織を設立。1500件以上の加害者家族の支援を経験。加害者家族の現状について、さまざまなメディアで発言。相談業務と共に、講演や執筆活動を展開している。

著書『息子が人を殺しました—加害者家族の真実—』（幻冬舎新書、2017）等。

普段、何気なく耳にしている犯罪報道の裏で何が起きているのか—
世間からは、犯罪の原因を作ったとみなされ批判される加害者家族の実態、諸外国の状況と比較した日本の加害者家族を取り巻く社会環境、メディアが報じる加害者家族像、刑事司法における加害者家族、
など、**加害者家族という視点から、犯罪報道や刑事司法の在り方について、最前線からの問題提起をいただきます。**

日時：7月10日（水）11時05分～12時35分

会場：B11教室

※法学部学生、法務研究科・法学研究科学生に限らず、学内の方、どなたでも聴講歓迎します。